

新庁舎開庁までの2年間の対策について



安藤真理子議員

質問 イトーヨーカドーが閉店したことで、土浦駅前周辺に買物をする所がなくなっただという声を耳にする。新庁舎周辺住民の日常生活対策について伺います。

産業部長 大型店撤退に伴い、商業者及び関連団体による打ち合わせ会を開催し、市より、まちのランドデザインの考案方や新庁舎のレイアウト案、今後のスケジュール等を説明した上で、様々な議論を行ってきた。

打ち合わせ会では、新年度に市の取り組む事業や商店街連合会の行う事業への支援策の概要についてご説明し、新庁舎の工事までの約1年間、既存ヨーカドーフロア1階を活用して、商店街連合会や関係団体等が取り組む事業に対し、光熱水費や設備等の支援策について示させていただいた。

また、うらら広場の活用についても、これまで同様に元気市等のイベントを継続することで賑わいの創出を図るほか、テント村や軽トラ市のような買い物弱者対策につながる事業も研究し、関係団体等と実現に向けた検討をしてまいりたいと考えている。

(掲載以外の質問事項)
・新庁舎移転に対する商業者への行政の対応について

土浦市営住宅の現況について



内田卓男 議員

質問 申し込んでも空室がなく、待機している市民のため、民間の賃貸住宅情報の提供ができるよう、つくば市の事例を提案します。

建設部長 市営住宅は、住宅に困窮する低所得者に対し、低廉な家賃で賃貸することにより、生活の安定と社会福祉の増進に寄与することを目的にしている。

土浦市営住宅の現況は、全

戸数16団地、1千242戸中、老朽化等の住宅以外の12団地、1千157戸について、受付順に入居案内しており、平成25年2月末の空き室戸数は87戸となっている。

市営住宅の待機者は、平成21年は112件、平成22年は113件、平成23年度が59件、平成24年度は50件、平成25年2月末で47件と推移をしているが、新しいバリアフリー化された住宅や小・中学校を変更しないで済むこと等が理由となり、空き室はあるが、待機者が出るといふ状況にある。

提案のあった社団法人宅地建物取引業協会土浦・つくば支部との協定による民間賃貸住宅の情報提供については、市営住宅の待機者解消策として有効な制度と認識しており、本市の事情を踏まえ、協定の締結に向けて協議を進めてまいりたいと考えている。



市長と議会との関係について



福田一夫 議員

質問 地方分権一括法の施行後、自治体の権限と責任は飛躍的に高まっている。このような中で、市長と議会のあるべき姿とはいかなるものなのかを伺います。

市長 議会では、議会と市長との関係をより適切なものに近づけていくための議会基本条例の制定に努力をされていることは、まさに時代の潮流を踏まえたもので、当該条例の施行を機に、お互いがさらに切磋琢磨し、関係がより一層意義深いものとなることを望むものである。

現憲法下の二元代表制の下では、議員各位と私が、ともに市民の負託を重く受け止めながら、多様なニーズに対応し、ひいては市民の福祉の向上が図られるよう、車の両輪となって自治体運営を行っていかねばならないと強く思っているところである。

放課後児童クラブ事業について



矢口 清 議員

質問 子ども・子育て関連3法の改正により、6年生までが放課後児童クラブの対象になった。本市の具体的な整備スケジュールについて伺います。

教育部長 学年延長についての整備子育て関連3法の成立による関連法律の整備による児童福祉法の改正により、国、都道府県及び市町村以外のものが放課後児童クラブ事業を実施する場合は、あらかじめ厚生労働省令で定める事項を市町

今後、自治体運営の両輪である議会と私とが、相互牽制、抑制と均衡によって適度な緊張関係を保ちながら、協力して市政発展に寄与してまいりたいと考えている。

(掲載以外の質問事項)
・平成25年度一般会計予算について